



競技注意事項

本大会は、無観客での実施とする。

※ 入場者名簿を必ず作成し、提出すること

1 競技規則について

本大会は、2022年 日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習場及び練習について

- (1) 大会当日の練習は、補助競技場を使用すること。朝の本競技場での練習は、9時20分までとする。ただし、2日目の走幅跳ピットは、8時40分までとする。なお、投てき物及びメディシンボールなどを使用しての練習、トーチングチューブなどを利用しての練習は、競技場周辺も含めて禁止する。また、雷管を使用したスタート練習も禁止する。
- (2) フィールド競技の本競技場での練習は、招集完了後から競技開始までの間に、競技役員の指示に従って実施する。

3 招集について

- (1) 招集所は、メインスタンド2F裏通路・北側に設ける。
- (2) 招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内に持ち込まないこと。
- (4) 招集の手順
 - ① 競技者は、招集開始時刻までに招集所で、競技者係の確認を受ける。トラック種目出場者で、腰ナンバーカードが競技者係から配布された場合は、右腰のやや後方につけること。
 - ② 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ③ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻までに所定の「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備) その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
 - ④ 招集完了時刻を確認を受けていない競技者は、当該種目については棄権とみなして処理する。
- (5) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに、「欠場届」を提出すること。(用紙は招集所に準備)
- (6) 混成競技について
 - ① 第1日及び第2日の最初の種目については、招集所にて指定された時刻におこなう。2種目目以降は、当該競技役員の指示に従うこと。
(トラック種目は10分前、フィールド種目は30分前までに現地に集合すること)
 - ② 他種目と重なっている場合は、あらかじめ混成競技係にその旨を告げ、競技者係に「多種目同時出場届」を提出しておけば、直接現地への移動を認める。(トラック種目優先)
- (7) 招集所からスタートライン・跳躍場・投てき場へは、各自で移動すること。
- (8) 小学生種目は、トラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は40分前に現地で点呼を受けること。

4 競技進行について

- (1) 番組編成及びラウンドの通過について
トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載左側に示された番号順とする。
なお、決勝の組み合わせはすべて番組編成員が行い、招集所及び記録結果速報(ネット上)で発表する。
- (2) 競技について
 - ① 当該種目出場の競技者以外は競技場内に立ち入ることはできない。
 - ② 競技用靴のスパイクの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。いずれの場合も本数は、11本以内とする
 - ③ ナンバーカードは配布された大きさのまま、ユニフォームの胸部と背部つけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、背部または胸部だけでもよい。
 - ④ 不正スタートについては、混成競技を除いて、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。(競技規則162条6、第200条8、国内ルールを適用)
 - ⑤ 10000mはスタート後 男子 40分00秒、5000mWはスタート後 男女とも 35分00秒 で競技終了とする。
 - ⑥ 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (3) 混成競技のハードルの高さや投てき種目の重さは、以下の通り。
〔十種競技〕 110mH：1.067m 砲丸：7.260Kg 円盤：2.000Kg やり：800g
〔八種競技〕 110mH：1.067m 砲丸：6.000Kg やり：800g



2022年度 奈良県陸上競技選手権 混成・長距離・競歩大会

〔七種競技〕 100mH：0.838m 砲丸：4.000Kg やり：600g

〔四種競技 男子〕 110mH：0.914m 砲丸：4.000Kg

〔四種競技 女子〕 100mH：0.762m 砲丸：2.721Kg

(4) 混成競技の走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、現地にて確認しておこなう。

(5) 記録会種目の「走幅跳・砲丸投・円盤投」は、トップ8方式を採用し実施する。

(6) 競技中に起きた競技者の行為又は順位などに関する抗議は、競技規則146条に基づいておこなうこと。

(注) 競技用シューズに関するルールについて

ワールドアスレティックス(以下「WA」という)による WA規則第143条(テクニカルルール第5条=TR5)が適用されますので、規定外のシューズでは競技できません。(発覚した場合は失格扱い)

5 競技用具について

(1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。

(2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。ただし、検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。検査時刻は、競技開始時刻の60分前までとし、南用器具庫(フィニッシュ地点横)でおこなう。競技中に破損が生じて主催者は一切の責任を負わない。

(3) フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したものを2個まで、サークルからの投てき種目では1個置くことができる。個人の所有物は使用できない。

走高跳の競技者は、各自でマーカー(粘着テープ、2箇所まで)を用意し使用してもよい。

(4) リレー競技のマーカーは各チームで準備し、レース終了後、必ず撤去すること。

6 個人情報の取り扱いについて

(1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、個人情報を取り扱う。また、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

(2) 大会の映像・写真・記事・記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム、新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

7 一般的注意事項

(1) 記録は、記録結果速報(ネット上)を確認すること。

(2) 競技者の入退場は競技場の各ゲートから行き、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。

(3) 正面玄関からの出入りは禁止する。

(4) 競技中に起こった疾病・傷害については、本部の医務室で応急処置は行うが、以後の責任は一切負わない。

(5) ゴミ等は各自で持ち帰ること。駅・競技場周辺のゴミ箱等には絶対放置しないこと。

(6) 貴重品、荷物等は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。

重要 新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い

(1) 会場内では、主催者から配られた胸章を、見えるところに必ず付けてください。

(2) 会場には、アルコール消毒液の準備はしますが、「マスク着用・うがい・手洗い」などの感染防止対策を徹底してください。

(3) 密集・密閉・密接空間をつくらないようにするため、更衣室の利用は控えてください。

(4) 近距離での会話や発声を避け、応援など大きな声を出すことは控えてください。

(5) 長時間会場に留まることのないようタイムテーブルを確認の上、競技会に参加してください。

(6) 投てき競技のすべり止めの準備は、各自でしてください。

以上のお願いに同意できない場合は、今回の競技会への参加はご遠慮ください。